



対キルギス無償資金協力「人材育成奨学計画（JDS）」署名式の開催

9月5日、令和4年度対キルギス無償資金協力「人材育成奨学計画（JDS）」の署名式が開催され、前田大使及びバケタエフ財務大臣の間で、交換公文が署名されました。

JDSは、人材育成及び二国間関係の発展を目的として、若手行政官を対象に、日本の大学院での学位取得を支援する奨学金プログラムです。本年度、日本政府は3億2,300万円（約240万ドル）を支援します。

JDSは世界16カ国で実施されており、キルギスからは2007年に最初の留学生を日本に送り出しました。これまで200人以上の卒業生がキルギスに帰国し、省庁を中心として、キルギスの持続可能な発展に貢献すべく、日々奮闘しています。卒業生には、大臣や次官など、政府要職に就く方も多くおられます。

日本政府は、JDS生が日本で得た知識と経験を、キルギスで実際の政策に生かし、キルギスの社会・経済発展に貢献するとともに、日本とキルギスの二国間関係発展の懸け橋になることを期待します。

